

■研究推進委員会 活動計画書

学術委員会承認日：平成 29 年 2 月 18 日

名 称	ランドスケープ教育・国際連携 研究推進委員会
委員長	氏名（所属）： 福岡 孝則（神戸大学）
幹 事	氏名（所属）： 武田 重昭（大阪府立大学） 連絡先（e-mail アドレス）：takeda@envi.osakafu-u.ac.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 栗田 和弥（東京農業大学）、西山秀俊（グラック）、山田 順之（鹿島建設）、三島 由樹（フォルク）、上原 三知（信州大学）
目 的	<p>ランドスケープ・アーキテクトの教育相互認証が進むヨーロッパでは、大学で教育すべきテーマや、教育時間数、必要な研究者およびランドスケープ・アーキテクト数が明確に示され、各国間でも共有されている。また各大学や、国が得意とする分野の教育や研究をシェアする条件も整っているようである。一方、次世代を担う若手教員が大学においてランドスケープの教育および研究を推進するポストを獲得するためには、英語論文(web of science)の受理数や、インパクトファクターの獲得など、海外ジャーナルとの連携が必須になって来ている。</p> <p>このような状況の中で、日本の若手研究者や学生が孤立することなく、教育の目標や水準、研究の潮流等を共有することは重要である。本研究推進委員会は、アジアパシフィック地域だけでなく、北米や、ヨーロッパのランドスケープ・アーキテクトの国際連名である IFLA World および IFLA Apr とのネットワークを活かした国際連携や、具体的なネットワークを構築することで、世界レベルでの教育や研究の規準の共有や連携の推進を図ることを目的とする。</p>
活動計画 及び 想定される 成果 (1年目)	<ol style="list-style-type: none"> ① ランドスケープ条約・憲章の翻訳と内容の共有 ② 海外の若手支援の情報収集と日本への応用の可能性の検証 ③ 具体的な連携先とのネットワークの構築
(2年目)	<ol style="list-style-type: none"> ① 1年目の成果を学会誌等へ掲載することで、学生をはじめとする会員内外への情報発信を行う。 ② IFLA World 大会、IFLA Apr 大会への参加を通じた若手専門家ネットワークの確立を図る。